

議 事 録

会 議 名	平成 30 年度みのかも定住自立圏形成市町村長懇談会兼第 2 回ビジョン懇談会
日 時	平成 31 年 3 月 27 日 (水) 13 時 30 分～15 時 00 分
会 場	リバーポートパーク minokamo 大集会室

●参加者（敬称略）

<ビジョン懇談会委員>

- ・加藤 武志
- ・岸田 眞代
- ・加藤 慎康

<美濃加茂市担当者>

- ・美濃加茂市市民協働部長 大畑英樹
- ・美濃加茂市市民協働部定住自立圏推進室長 渡辺春文
- ・美濃加茂市市民協働部定住自立圏推進室 村雲洸佑、川上明里

●議題

1. あいさつ
2. 事務局説明
 - ・第 2 次共生ビジョン進捗報告
 - ・平成 3 1 年度第 2 次共生ビジョンの内容や予定 など 資料 1
 - ・第 2 次共生ビジョン第 5 回変更内容の説明 資料 2
3. 意見交換 資料 3
4. 施設説明（土木課 日比野課長）
5. 閉会

●発言内容（要約）

《 1. あいさつ 》

（美濃加茂市長）

市民の方が動き出すと変わる、行政だけではできない。里山公園、健康の森など様々な健康増進を目的とした施設がリニューアルしている。これらは指定管理制度をとっているが、これは民間からのアイデアである。民間が動くことによって市は変わると痛感しました。これまで、「教育」「活力」「安心」「交流」の 4 つのキーワードで美濃加茂市は進めてきたが、今回から「健康」を軸に「心」、「身体」、「社会」の健康を定住の中で展開していく。本日はよろしく願いいたします。

《 2. 事務局説明 》

- ・第 2 次共生ビジョン進捗状況
- ・平成 3 1 年度第 2 次共生ビジョンの内容や予定 など 資料 1
- ・第 2 次共生ビジョン第 5 回変更内容の説明 資料 2

《 3. 意見交換 》

- 加藤会長 ここから司会を交代します。
ちょうど1年前に加茂野交流センターで、第2次共生ビジョンが何点くらいつけられるか、また3次に向けての話をした。第3次を進めるにあたって、若い人をどうやって受け入れるか、ビジョンを描くところから始めていったらどうか、プレイヤーをもっと育てていけないか。第2次ビジョンがどう定住に結びつくのか考えながら話を進めてきたと思う。事務局が介入して軌道修正をしていくことも必要なのではないかと昨年まで話し合ってきた。
今後のことを意見交換していきましょう。
実際に、この圏域に移住してきたひとはどれだけいるのか。
- 事務局 近辺から入ってきている
- 加藤慎康 移住ではないが交流人口がふえればいいなと思う。
白川町の有機農法を勉強したいというかたは、東京、横浜からも来られています。オアシス21のマーケットを仕切っている吉野さん（愛知県）が有機栽培をやりたいなら白川町に行きなさいと言ってくれている。研修機関として機能している。八百津町は、外国人の地域おこし協力隊とか。八百津町の商店街の古い空き家を利用して東京名古屋より安い料金でカフェをやっている。
- 加藤会長 名古屋市民というターゲットが議会でひっかかっているのか。
- 事務局 名古屋に特化しすぎているということです。定住につながってきかないのではいかと。
- 市長 わかって言っているのか。マスコミの書き方は議会の意見を煽り立ててやっている。議会には、どういう効果、目的をもってやっているのかを丁寧に説明してなかった。
- 岸田 お金の使い方の問題か。
- 市長 お金もある。名古屋市の人を呼んで何の意味があるのかと言われる。しかし、名古屋をターゲットにするのは絶対的な条件。
- 岸田 定住人口がどれだけ増えたのかという実績が問題と言っているのか、もっと広いところから呼んだ方が可能性があるから言っているのか。
事務局として課題をどうとらえているのか。
- 大畑 定住をやっているも、地域の人々が認識されていない。定住事業効果を検証できない。
- 岸田 精査をしていかなければならない。ここに参加している町村に差があるのではないかと思う。マンガを出しているようなところは熟知してきている。効果は、定住してほしいという切実性と事業の効果のバランスだと思う。バランスを見るためには数値の評価をしたほうがよい。かなり違いがある、その違いはなんなのかということそれぞれの町の担当者が理解しておかなければならない。せっかくやってもお金を使うだけになってしまう。
- 加藤 中心市の美濃加茂以外では富加町。
- 市長 10年前加茂圏域全部でスタートしていない。一番に手を挙げたのは坂祝町。自分の街をどうするのかを美濃加茂市と手を組んだ事業をやってきた。数年かけて7市町村と取り組んできた。スピード感よりまとめようとするほうに力を入れ過ぎた。八百津町は自分たちだけでやれるとプライドをもってやってきている。美濃加茂に負けないくらいある。温度差とスタートラインが違う。

外ばかりに手を広げて内にメリットがないという悪い感じがある。
美濃加茂市についていきますよと、そういうスタンスに変わってきてしまっている。1対1の考え方を整理しないとイケない。温度差があるところをひっぱっていくには限界がある。

- 岸田 共同というのを双方がどのように理解して、事業を成り立たせているかということに疑問に思っている。お互いをもっと明確に。事業をやることだけに終始してないか。
- 大畑 各市町村からの提案事業により違う。
- 岸田 それぞれの事業での温度差がでてきてしまっていないか。
- 市長 100の事業の効果を出すのは難しい。ひとつならわかりやすい。ピンポイントで予算を組んで取り組んでいきたい。
- 岸田 これからやるときには、お互いに強み弱みを補えあえる関係か、理解し確認したほうがいい。
- 大畑 そうですね。
- 市長 名古屋、美濃加茂にメリットがあることを議会に伝えてこなかった。
- 岸田 お互いに理解していれば議会に出せる。
- 加藤慎康 今回の課題はチャンネルがバラバラなところ。WEBサイトに見て来るかというところ来ない。自転車のグループのイベントはすごかった。里山、健康の森、中山道の酒蔵開放。美濃加茂には集客できる場所がある。
- 市長 里山公園は県立公園だが、まだまだ圏域で使える。
- 加藤慎康 里山公園はアンケートすると市外の名古屋から来ている。
- 加藤 事業スタートが市役所の課から始まる。スタートアップのところからいろんな人（地元、会社）を巻き込んで投げかけた方がかけ合わせたり発想組み合わせして、行政はコーディネート役をすればよい。町村割のやり方には限界がある。
- 岸田 行政は予算がついているときはいいが、予算がなくなってしまうと終わってしまいます。企業にもメリットがあるような組み立てをするとよい。
- 加藤 事業を熟知していない問題だが、関わる側に身を置いてもらわないとイケない。
- 岸田 自分が行きたいところにはみんな行きたい。情報が届く仕組みを作っていきたい。
- 市長 今回の2次ビジョンで大事なところは都市圏とのつながり、主体は市役所ではない。都市圏のつながり事業に偏ってしまった。
- 岸田 トータルの市民団体は入っても企業は入っていない。偏っている。
- 加藤慎康 つながる事業が残っているとよい。
- 市長 みんなをつなぐエンジンとなる場所をつくとよい。エンジンはスポンサーにもなれる。
ローゼル、さつまいも活用だとかある。自分の人生をかけてでもやる人がいる。修行してみたい人もいる。
- 加藤 材料を出し合える場がない。行政が音頭をとっている。
- 岸田 手を挙げる人がどれくらいいるか。
- 加藤 行政色が強いとダメ。今まで設けてない気がする。若い子がいなくて20年30年後なんて誰もいないですよ。それが1年後の今も変わっていない。3次

になっても若返らない。

- 岸田 市民活動をやる人が育っていない。事業の中で見つけられるとよい。
- 加藤 先人たちの引いたレールに乗ってくださいではなくて、しっかりした団体に入るのではなくて、事を興すのは感心がある、うまい橋渡しをしてつながっていけるか。仕組みにするか。行政が考えるのはそこではないか。行政にはセッティングする。理想をかけ合わせていくのは行政に限界がある。若い子を巻き込んでやる方がよい。
- 岸田 行政は場所をセッティングしてあげることが大事。
- 加藤慎康 女性のNPOがふるさと納税で1億円。
- 市長 都市の活性化は幻想がある、短期間で結果を出させるのではなく、見守るとよい。
- 岸田 街は小さければ小さいほど住んでいる人のポテンシャルが街を作っていく。ポテンシャルを上げていくか課題。
- 加藤 誰が来るかが問題。人数だけではだめ。
- 市長 三和町は市内で一番人口が少ないまちだが、協議会の方が「まちを絶対に残すんだ」と頑張っている。彼らは喫茶店をやりたいときたときはみんなで作った。小さいほうが結果出しやすい。地域の力は大きい。第3次ビジョンは私の想いや首長の想いを中心にやってきた。行政の課題は解決することはやってほしいが、プレイヤーとしてどうもっていくか。
- 岸田 行政は場所だけセッティングするような役割。
- 大畑 行政を得意とするもの、それしか知らない職員が多い。
- 市長 数字に意識されてしまう、2が4になる。見守ることが大事。住民のかたの力はすごい。

《4. 施設説明 (日比野課長)》

《5. 閉会挨拶 (加藤会長)》

いままでやってきた1次2次、得られたこと、実績、課題、移住者数、どこからきたか、数値化して各町村や議会に示すとよい。5年後のゴールに向けて何していくべきかセッションする場を設けること、チャンネルの一本化、欲しい人に届く情報の共有化をするとよい。